

ご予約・お問い合わせ専用電話 070-5061-1594

受付時間 8:30~17:00 (土日祝日・年末年始を除く)

おやべにこにこ園 検索

病児保育は
こちらから



夏と比べて日が落ちるのが早くなり、いつの間にか季節はすっかり秋模様となりました。今年は全国的にもRSウイルスの流行がありました。実はインフルエンザも流行が懸念されています。

いつもは冬号で取り上げているので少し早いです。今回はインフルエンザを取り上げたいと思います。対策や予防への意識の一助となれば幸いです。

インフルエンザの症状は？

突然の発熱や咳、のどの痛み、倦怠感（だるさ）など。鼻みず、鼻づまりや頭痛なども見られます。

症状の
あらわれ方が
急激なのが
特徴です。

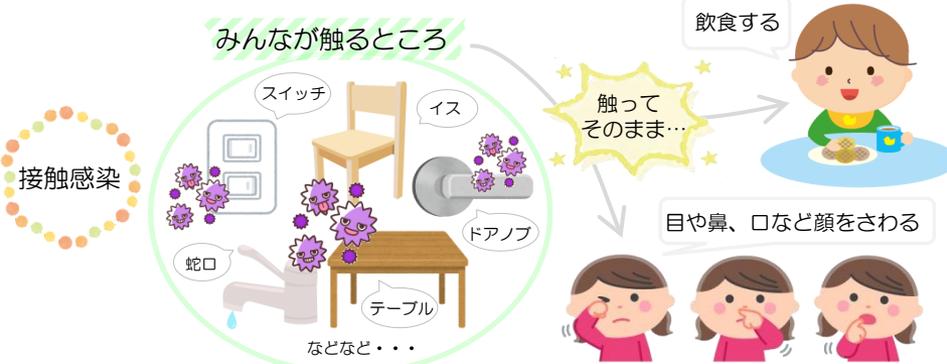


インフルエンザの感染経路

インフルエンザの感染経路は、おもに飛沫感染と接触感染です。



会話や咳やくしゃみをする時、口から細かい水滴（飛沫）が飛び散ります。それを吸い込んだり、目にかかったりして、気道の粘膜や目の粘膜などから病原体が侵入することによって感染するのが飛沫感染です。



人がよく触るところに病原体に感染した人のつばや鼻水がついていて、それらを触った手などで口や鼻、目の粘膜に触れることで感染するのが接触感染です。

感染を防ぐには…

- ① 流行前のワクチン接種
インフルエンザワクチンは感染後に発症する可能性を低減させる効果と、発症した場合の重症化防止に有効と報告されています。
- ② 手洗い・手指衛生
流水・石けんによる手洗いは、インフルエンザに限らず接触・飛沫感染などの対策の基本です。インフルエンザウイルスにはアルコール製剤も効果があります。
- ③ 適度な湿度の保持
加湿器などを使って適切な湿度（50~60%）を保つことで、気道粘膜の防御機能が正常に働きます。
- ④ 人混みや繁華街への外出を控える
インフルエンザの流行時には、特に高齢の方や基礎疾患のある方、妊婦、体調の悪い方、睡眠不足の方は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。外出するときには、人との距離をとる、ある程度、飛沫感染等を防ぐことができる不織布製のマスクを着用することは一つの防御策です。
- ⑤ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
体の抵抗力を高めるために、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を日ごろから心がけましょう。



2歳未満の乳幼児はまわりの大人がマスクをつけましょう



帰宅後とごはんやおやつ前にはしようね♪
流水と石けんで



元気がいちばん!

病児病後児保育室おやべにこにこ園は、今年の9月末で満4年を迎えました。ご縁がある中で大切なお子さんを預けてくださり、本当にありがとうございました。その時々の中でお子さんや保護者の方の最善を考えながら試行錯誤し少しずつより良いものを取り入れて、設立当初より様変わりしてきました。お子さんや保護者の方を含め本当にたくさんの方々のお力と知恵と善意をいただき、温かく見守っていただけて今があります。本当に感謝しかありません。お子さんの育ちを大切にしながら『今』に向き合い、保護者の方にとっても安心できる場となりますように努めてまいります。5年目もどうぞよろしくお願いいたします。